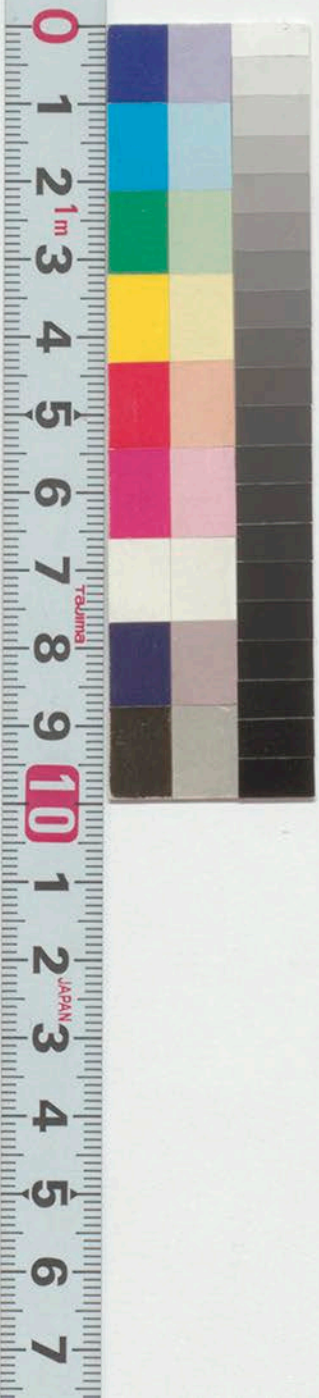


繪入
小倉

百人一首

全





喜雨閑人校訂

繪入
小倉百人一首
百一首

全

東京

深松堂藏

定家卿小倉
之山庄三十
百人一首ヲ
撰ニ給フ圖



國輝畫

天智天皇

秋の田の赤は
庵のまよと
我あちのまは
霞ふぬまろ



楠木人麿

豆敷の山守の
木のまき尾の
たのしく一夜を
獨りのゆ極受



猿丸大夫

奥山まもみお遊り
鳴鹿の
お原きく肘を
移らぬ形一き



持統天皇

春まなく其さの
弟の白妙を
衣はきてかきぬ
あやま



山邊赤人

田節のうららふ
みきえ 白妙の
ゆのう極お
香らありて



中納言家持

影のむる
杉まをく霜の
まろきをみきた
衣そ更ふり



安倍仲磨

あまは示す
足橋をまよお
みくさのゆり
ついで月も



小野小町

花のちとらつり
はらつらよ
我身よおあ
たうぬせーま



参議望

和田のち
こま出ぬと
人あははる希よ
たのまのの赤



喜權法師

弓高をまの
まろこ藤をまむ
よ城ちちと
くらつあま



蟬丸

おれやこの紗の
うららよ
志らよしちぬも
あかさらの関



僧正遍昭

あま風まの
吹とちよ
こめす
まをーさあむ



陽成院

はくを録のま
よのつらる
又水の川
まひそらりて
潮とありぬ



光孝天皇

君の妻の
おのつら
わふつた
我衣を
おのつら



在原の業平朝臣

子早ふ秋代の
きんま
まう川
かろれあめ
水をるる



河原左大臣

みちのつら
ゆちま
たれあつ
又さそあ
わああ



中納言行平

まろのつら
の山のま
まろに
きろし今
あつ



藤原敏行朝臣

信のえん
よる
方さ
かあ



伊勢

あつら
あつら
あつら
ま



素性法師

今こむ
まろ
あつら
ま



大江千里

月又絶
物
か
秋中



元良親王

まろ
あつら
あつら



文屋東秀

吹
まろ
あつら
あつら



菅家

あつら
あつら
あつら
あつら



三條右大臣

名やれり
あき山か
出候らる
人ふ老る
くまのうら



中納言兼輔

見れば
あき
あき
あき
あき



九河内將恒

あき
あき
あき
あき
あき



貞信公

小倉山
あき
あき
あき
あき



源宗千朝臣

あき
あき
あき
あき
あき



壬生忠峯

あき
あき
あき
あき
あき



坂上是則

あき
あき
あき
あき
あき



紀友則

あき
あき
あき
あき
あき



紀貫之

あき
あき
あき
あき
あき



春道列樹

あき
あき
あき
あき
あき



藤原興風

あき
あき
あき
あき
あき



清原深養父

あき
あき
あき
あき
あき



文屋朝康

志とてあふ風か

ふきく秋の

群れ

あふきく秋の

参議等

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

壬生忠見

意はくあふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の



右近

忘とてあふきく秋の

思を秋の

人の命北

たふきく秋の

平兼盛

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

清原元輔

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の



中納言教忠

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の



中納言朝忠

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の

あふきく秋の



大中原能宣朝臣

御垣守衛主

火の巻



藤原実方朝臣

か

つふきの

はしもあはし



右大将道綱母

あけ

ぬうより

ひ



藤原義孝

あ

今

あ



藤原道信朝臣

あ

あ

あ



儀同三司母

あ

あ

あ



大納言公任

名

久

あ



紫式部

あ

あ

あ



赤染衛門

あ

あ

あ



藤原義孝

あ

あ

あ



藤原道信朝臣

あ

あ

あ



儀同三司母

あ

あ

あ



和泉式部

あ

あ

あ



大貳三位

あ

あ

あ



小式部内侍

あ

あ

あ



伊勢大輔

いせの春 伊勢大輔
いしえのまの
ここの

八重桜

東九重小
白ひめりうあ

左京大夫道雅

今いりるひ
とまんと

人伝はあそそ

いよりもうり

柳横

眼まといをきぬ

神さあちあぢぢ

意なくもまん
名こそれい後



清少納言

あまのま
香のま
考ハ

はるも
よふあまの
せきあまの

権中納言定頼

胡をけ

川考文くぬ

あまこれま
ぬの細代木

前大僧正行尊

あはれと
たま山ま

花やあま
まもあし



周防内侍

春の夜のま
手枕

かひれくさん
名こそれい後

能因法師

あはれふくまの
山のあまちま

あまこせ川の
ゆきあまなり

大納言經信

夕後下門田の
程をまといつて

あまのまやあ
舟風をま



三條院

あまのま
あまのま
あまのま

あまのま
あまのま
あまのま

良選法師

はひりま
あまのま
あまのま

あまのま
あまのま
あまのま

秋のゆくれ

あまのま
あまのま
あまのま

あまのま
あまのま
あまのま

あまのま
あまのま
あまのま



前中納言匡房

今御のねのふ

お山の

あま



藤原基俊

繁りをまき

あまを今

あまを



崇徳院

源を

源

源



源俊頼朝臣

うりり人

おの

おの



法性寺入道前因良朝臣

和

出

を



源兼昌

淡

千

と



左京大夫頭輔

秋風ふ

ゆれ

影



後徳寺左大臣

不

あま

あま



皇太后宮大夫俊成

世の中

山の

藤



持賢門院堀川

あ

み

け



道因法師

お

あ

あ



藤原清輔朝臣

あ

あ

今



俊恵法師

おもてまつ、
おかせまつ
明中として
閑ありひまきつれお
なりなり



舜蓮法師

おんさるの
おんさるの
わこひぬ
栲のまわり
毛髪こそめめめ
おのたふれ



式子内親王

玉の徳よこし
こころ杯あま
思ふること
より
おそゆる



西行法師

ありと
月やん
あをちも
かこちりあま
わらわこころあ



皇嘉門院別当

おのあ
うたの
一夜
身をつくしや
おこころあ



醍醐門院大夫

足利
おのよまの
神も
おのよまの
おのよまの



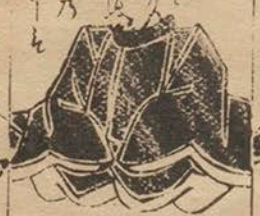
後京極攝政前大臣

きりくは
おんねり
おんねり
おんねり



鎌倉右大臣

おのち
おのち
おのち
おのち



前大僧正慈円

おんけれ
うきよの
民小ねり
わらわ
おん
乃種



二条院讃岐

おのち
おのち
おのち
おのち



藏議雅經

おのち
おのち
おのち
おのち



入道前大政大臣

おのち
おのち
おのち
おのち



67398

跡見学園女子大学短期大学部図書館



a0010380996a

権中納言定家

大ぬいせまる

うしろの

あまふ

あまふ



後鳥羽院

くせれ

ひも

あまふ

あまふ

あまふ



正三位家隆

小川の

あまふ

あまふ

あまふ



順徳院

あまふ

あまふ

あまふ

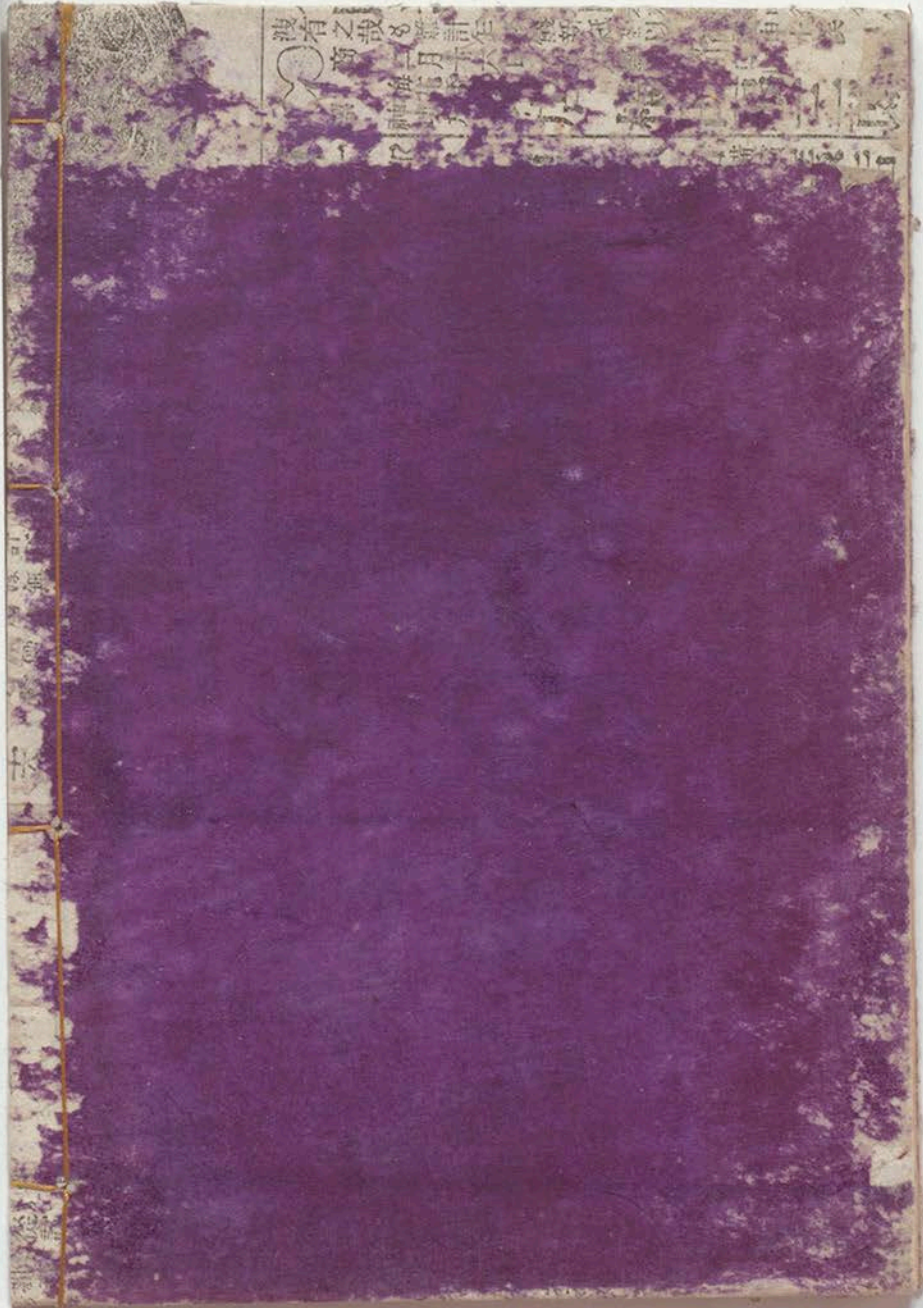
あまふ



明治廿四年 月 日 印刷
全 年 月 日 出版

東京市本所区横綱町二百
十八番地

印刷兼 鎌田在明
発行者



觀者之哉
商曆二月十六日
神曆二月十六日